

わだの丘

和田だより 第517号 (令和4年4月13日)



<http://wada.maizuru.ed.jp>



満開の体育館横の桜

令和4年度の始まりにあたって

満開だった桜の木々も若葉が芽吹き始め、吹く風も心地よく、春たけなわの季節となりました。保護者、地域の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育活動推進に格別のご理解とご支援をいただき、深く感謝いたしております。

11日に始業式を、12日には来賓・在校生の参加こそありませんでしたが、保護者の皆様のご臨席のもと、入学式を無事行うことができました。中学校生活への期待と決意に目を輝かせた29名の新入生を迎え、2年生32名、3年生31名、全校生徒92名及び教職員23名により、令和4年度和田中学校の教育活動が始まりました。

中学校では新しい学習指導要領により学びのスタイルや評価の観点・規準も変わり、GIGAスクール構想の推進で、ICT機器を活用した授業も展開されています。そのような中ではありますが、従来通り校区の小中一貫教育を推進し、和田中学校区教育目標『夢を志へ』～学び手としての児童生徒の育成～の達成を目指し、中舞鶴小学校と連携しながら取組をすすめてまいります。

さて、今だ、新型コロナウイルス感染症の収束が見られず、舞鶴市でも毎日のように感染者が出ており、感染予防対策を継続しながらの厳しい新年度のスタートとなりました。また、コロナ禍の中、学校行事だけでなく教職員の勤務についても、見直しがなされたことで、コロナ禍が収束したとしてもそのまま元通りとはならないものと考えております。今後も時代の流れに合わせて不易と流行をしっかりと見定めて、様々な行事の内容や日程などについて考えてまいりたいと思います。部活動においても令和5年度を目標として全国的に社会体育への移行が進められて行く中、顧問の指導体制の問題もあり、活動日の制限や舞鶴市全体として部活動の活動時間の短縮が年間を通して行われています。保護者・地域の皆様には大変ご迷惑おかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

和田中学校区教育目標 夢を志へ ～学び手としての児童生徒の育成～

学校教育目標

- ◎ 高めよう 確かな学力
- ◎ 育もう 豊かな心
- ◎ 鍛えよう 強い意志と体力

目指す生徒像

- ◎ 主体的に考え学ぶ生徒
- ◎ 他人を思いやる生徒
- ◎ 健康で粘り強い生徒

毎日の教育活動の中で、特に次の点を具体的に進めます。

- ◎ 確かな学力の充実をめざした取組（知育）
 - ・考え、学び、知識を活用しようとする主体性を育み、ICT機器を有効活用して、仲間との学び合いや発表活動が活発に行われる授業をめざします。また、小中一貫教育をさらに推進し、生活だけでなく授業スタイルでも連続性のある授業づくりをめざします。
 - ・個に応じたきめ細かな指導を行うために、習熟度別での学習や複数教師による授業を行います。
 - ・基礎基本の定着を図るために、放課後等の時間を活用し、学習会や個別の学習支援を行います。
 - ・家庭学習の習慣化のために、ICT環境を活用した宿題、自主学習ノートの取組などを進めます。
- ◎ 豊かな心の育成をめざした体験活動の取組（徳育）
 - ・職場体験学習、福祉体験、地域清掃活動などのボランティア活動の体験で豊かな心を育み、地域に貢献できる学校を目指します。
 - ・学校生活を通して、多くの経験や豊かな体験ができるよう、生徒会活動や部活動、全校縦割り集団での行事などに積極的に取り組みます。
- ◎ 強い意志と体力の育成をめざした取組（体育）
 - ・限られた時間の中で、部活動の各顧問が積極的に指導を行い、活気ある部活動（チームワーク、マナー、日々の努力や向上心の育成など豊かな経験を積む）を持続可能な取組で進めます。
 - ・食育や保健学習など、命、自らの身体とその成長を大切にする学習に取り組みます。

これらの取組を通して、日々の学習や生活を充実させ、学ぶ意欲あふれる学校にしたいと思っています。本年度も生徒数の減少で全学年1学級となりますが、これまで通り、落ち着きの中にも活気のある学校を目指し、どんなことにも精一杯自分の力を発揮できるような学校にしたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も同様に本校教育の推進にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

校長 荒賀 洋 教職員一同